

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 4 年 5 月 30 日

静岡県知事

川勝 平太 殿

提出者 〒421-3304

住 所 静岡県富士市木島258番地

氏 名 株式会社 富士宇部 富士工場

工場長 石 神 真 樹

電話番号 0545-56-0030

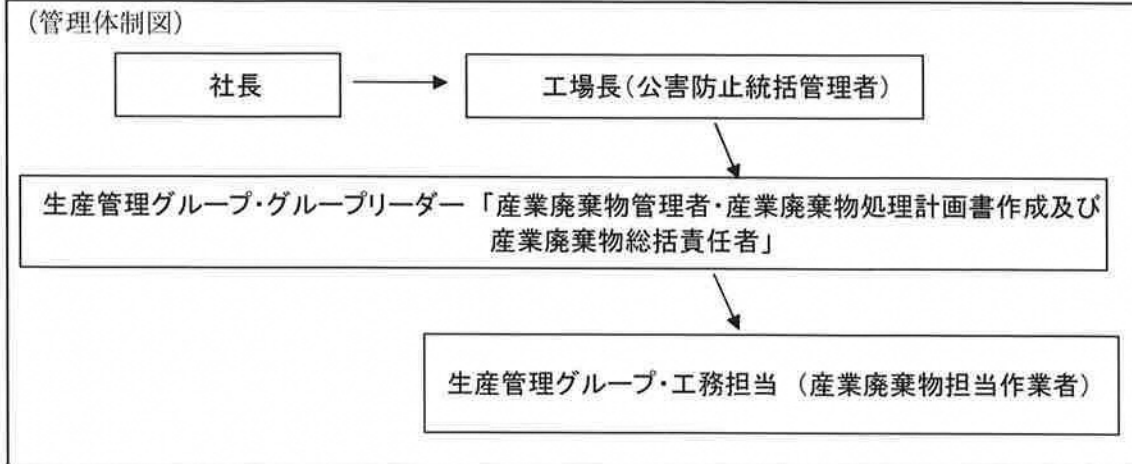
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 富士宇部 富士工場
事業場の所在地	静岡県富士市木島258番地
計画期間	2022年4月1日～2023年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	生コンクリート製造販売
② 事業の規模	製品売上 1045百万円
③ 従業員数	28名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	製品出荷 → 現場戻りコン → 運搬受託者 → 処分受託者

（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	建設混合廃棄物
	排出量	2,370 t	14.44 t
	(これまでに実施した取組) 戻りコン削減のため、ユーザーへ適切な生コン使用量の把握、オーダーを依頼。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	建設混合廃棄物
	排出量	2,140 t	10 t
	(今後実施する予定の取組) 製造工程に於ける不良品の削減に努めると同時に、顧客への的確な生コン使用量の把握、発注数の精査を依頼。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	建設混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	建設混合廃棄物
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	建設混合廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	建設混合廃棄物
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	建設混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	建設混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	建設混合廃棄物
	全処理委託量	2,370 t	14.44 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2,370 t	14.44 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			

(第5面)

②計画	【目標】 対前年比排出量10%削減		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	建設混合廃棄物
	全処理委託量	2,140 t	10 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2,140 t	10 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 生コンクリートの適性使用量の把握と、発注数の精査、慎重なオーダーを顧客、ユーザーへ依頼し、戻りコン削減に努める。		
※事務処理欄			